

令和3年（2021年）12月23日

若者意見交換会
(都市マネジメント懇談会)
会 議 要 旨

事 務 局

都市整備局都市計画課

若者意見交換会（都市マネジメント懇談会） 会議要旨

1 開催日時

令和3年（2021年）12月23日 18時00分

2 開催場所

まちづくり市民交流プラザ 5階 研修室

3 参加者

・Aグループ

下岡氏、田中氏、金井氏、中濱氏、後藤氏、久保隅氏、前田氏

・Bグループ

中村氏、田村氏、今田氏、松本氏、藤本氏、村瀬氏、宮野氏

4 出席委員

渡邊委員（座長）、田中委員、神田委員、木原委員

5 傍聴人

報道関係 1社

6 閉会

20時00分

【意見交換内容】

「集約型都市構造への転換に向けた広島市の都市づくりはいかにあるべきか」

【発表】

・Aグループ

・Bグループ

【会議の趣旨（渡邊座長）】

都市マネジメント懇談会は、広島市の都市行政について、長期的な視点から「集約型都市構造への転換に向けた広島市の都市づくりはいかにあるべきか」をテーマにこれまで議論を行ってきた。

そのような中、これからの広島の都市づくりについて、若い世代の方はどのような意見・考えをお持ちなのか、ポジティブ思考で色々な意見を伺いたい。広島市や懇談会への付度なく、自由闊達に発言してもらいたい。

【発表（Aグループ）】

僕私たちが考える 2071年までにこんな広島になって欲しい

- ・将来の広島市として、持続可能なまちであってほしい。
- ・持続可能な都市とするためには、「発信」、「平和な世界」、「安心・健康」、「環境」、「文化・愛着」の5つの要素が必要。
- ・「発信」と「平和な世界」としては、平和の大切さや核の恐怖といったことを、市民から世界へPRできればよいのではないか。
- ・「文化・愛着」としては、「音楽があふれるまち」、「アートであふれるまち」、「アーバンスポーツができるまち」などを実現し、そして、人々が帰ってきたくなるような場所になる必要があるのではないか。
- ・「環境」としては、「きれいな海の維持」や「緑地の管理」を進めると同時に、人々に農林水産に関心を持ってもらうことで、農業や豊かな海といった大事な環境を守ることができるのではないか。
- ・「安心・健康」としては、「交通での移動のしやすさ」を実現すると同時に、「健康でいられるような歩きやすいまち」、「居場所があるまち」、「みんなが生き生きと働ける」まちを実現する必要があるのではないか。

【発表（Bグループ）】

都心部

- ・ 広島個性と哲学を再認識・再解釈し、広島が持つ平和という強いメッセージ性を活かす、新しい広島の在り方を考えるべきであり、平和による都市のブランド化を進めるため、遺構などの歴史あるものをVRやARなどで形として残していく。
- ・ 出歩きたくなるまちにするため、都心部でも歩いて楽しいまちにすることが大切であり、テーマパークがあつたり日常的なマルシェなどが開かれていたりすれば、楽しそうに感じる。
- ・ 交通不便で外出を控えることがなくなるまちとして、スペースフリー、バリアフリーが交通の面でも充実していれば、幅広い世代が楽しめるまちになると思う。
- ・ 都心部の暮らしやすさを大切にすることで、住みやすきの質が向上する。
- ・ 買い物のスタイルが変化し、店舗はショールームのように実物を見るのみとなる可能性もあるので、他の魅力とセットにする必要がある。

郊外

- ・ 都心から近い農業は、アクセスが良く中山間地域よりも身近に感じられる。広島菜などの広島ブランドを郊外で生産し、自分たちが農業に関わっていくことが大事である。
- ・ 都心部だけでなく郊外についても、マツダスタジアムのような多機能な施設を造り、強靱なまちを形成する。
- ・ 魅力ある郊外として、戸建て住宅の流通性を向上させる。
- ・ 交通不便で外出を控えることがなく、人がドローンで移動できるなど、移動が楽で楽しいまちになれば良い。

中山間

- ・ 自然、人の少なさをビジネスチャンスになるものもあり、農業とドローンのコラボなど、いろいろなビジネスチャンスが埋まっている。

全体

- ・ まちに関わる人がもっとつながり、できる人に頼んだり、楽しく造っていくようなまちの在り方が大事である。

【講評：木原委員】

- ・ 具体的なアクションにつながる意見が沢山あり、技術的なところや課題解決という発想もあり良かった。
- ・ 人口が増えないということにリアリティーを持つことができれば、アクションが変化すると感じた。
- ・ まとめとして、ぜひ変化に対応していただきたい。そして、できるだけ大きな理想像を描いて、わくわくするような突き抜けたビジョンを持ってもらいたい。

【講評：渡邊座長】

- ・ 皆さんの話を聞いて、都市づくりにおいては、3つの着眼点が大事だと考えた。
- ・ 1つ目は、『課題解決型』。課題を整理して、それに向けて考えていく、一番オーソドックスなパターン。
- ・ 2つ目は、『地の利を活かすこと』。広島の場合であると恒久平和や環境などに強みがあるので、その都市の強みを成長・発展させていく。
- ・ 3つ目は、『みんなが得する仕組みづくり』。損得の価値観が変化してきているため、その価値観に順応していかないと、以前はみんなが得をした仕組みが、現代では誰かが損をするようなこともある。
- ・ 都市づくりの価値観が大きく変わってきており、そういった変化に順応し、取り組んでいく必要があると思う。